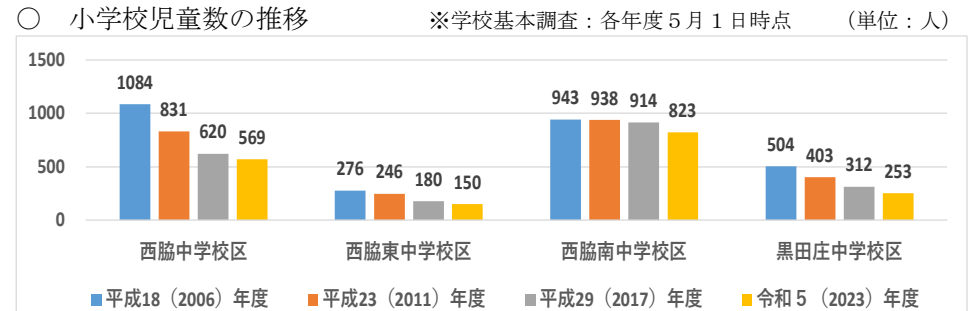
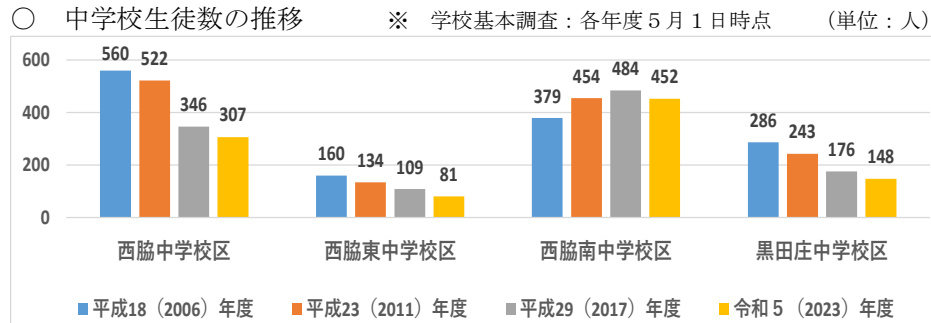


現状1

児童生徒数の推移



現状2

小学校区別就学前児童人口

○ 小学校区別就学前児童人口 ※ 住民基本台帳人口（令和5（2023）年10月1日現在）（単位：人）

年齢区分	生年月日	西脇小	日野小	比延小	双葉小	重春小	芳田小	楠丘小	桜丘小	合計
5歳児	H29.4.2 ~ H30.4.1生	75	31	11	2	104	13	20	17	273
4歳児	H30.4.2 ~ H31.4.1生	62	19	9	4	113	8	18	10	243
3歳児	H31.4.2 ~ R2.4.1生	58	32	9	2	87	10	24	12	234
2歳児	R2.4.2 ~ R3.4.1生	42	23	8	2	94	1	15	13	198
1歳児	R3.4.2 ~ R4.4.1生	60	28	12	2	98	6	14	6	226
0歳児	R4.4.2 ~ R5.4.1生	48	28	11	4	86	8	12	7	204

6歳児以上の年齢区分では、同年となる児童数が300人を超えていましたが、近年は200人程度に減少しています。また、半数以上の小学校区において、就学前児童人口が10人程度（10人未満を含む）にまで減少しており、様々な視点からの子どもたちの学習環境整備が必要です。

① 適正規模：方針

次の方針に基づき、段階的に適正な学校規模を確保

- 中学校 **1学年2学級以上が確保できること**
- 小学校 **複式学級編制が生じないこと**

※学校統合の対象となる学校
上記基準が確保できない、又は確保できない可能性がある学校

② 適正配置：方針（中学3拠点化）

市内を3つの中学校区に再編し、その校区ごとに中学校1校を配置

- 西脇中学校・西脇東中学校（統合）
- 黒田庄中学校
- 西脇南中学校

③ 適正配置方針（中学3拠点化時の小学校）

4つの現中学校区ごとに1校配置（段階的に）

- 西脇小学校・日野小学校（統合）
- 比延小学校・双葉小学校（統合）
- 重春小学校・芳田小学校（統合）
- 楠丘小学校・桜丘小学校（統合）

④ 適正配置の調査・検討（会議設置）

学習環境規模適正化の取組からおおむね10年が経過する令和15年度までに、学校や行政等の関係者で構成する「**調査検討会議**」を設置（黒田庄中学校の学習環境規模適正化の時期が令和15年度よりも早い場合、調査検討会議の前倒しも検討）
適正化推進に係る次の諸課題について検討

- ・適正化の推進効果
- ・市の人口推移
- ・教育制度の変化 等

⑤ 調査検討会議（R15年度）における調査・検討を踏まえた適正配置方針

- ・中学校区の2拠点化 調査・検討
 - 西脇南中学校 ○西脇中学校・西脇東中学校・黒田庄中学校（統合校）
- ・小学校の4拠点配置見直し
 - 重春小学校・芳田小学校（統合校）
 - 比延小学校・双葉小学校（統合校）
 - 楠丘小学校・桜丘小学校（統合校）
 - 西脇小学校・日野小学校

・統合を行うか調査検討会議で協議

新たな教育のしくみ にしわきっ子の「みたい！ ききたい！ 学びたい！」（学びに向かう力）を小中一貫教育と学校・地域・家庭の共創で育みます！

学びを一貫する
『小中一貫教育』導入・推進

- ・小中一貫した教育目標設定
- ・めざす子ども像の共有
- ・小中教職員の協働体制構築
- ・小中教員の相互乗入指導
- ・児童生徒交流・合同行事等

学びを一貫する
『小中一貫教育カリキュラム』による
学び易さと学びの成果の追求

- ・学習内容・スキル等の系統的
理解と習得
- ・就学前教育との接続重視
- ・非認知能力の育成

学びをすすめる
『情報活用能力育成』

- ・タブレット端末活用強化
（日常的な活用範囲の拡大）
- ・情報活用能力育成
（情報活用スキルの習得）
- ・探求学習への活用

学びをすすめる
『英語コミュニケーション能力育成』

- ・「話す」「聞く」機会拡大
- ・コミュニケーション能力向上
- ・小中一貫教育系統的な学び

学びの一貫を支える
『学校運営協議会』導入検討

- ・学校運営協議会研究・準備
- ・持続可能な支援しくみ構築
（登下校支援、地域貢献、不
登校・いじめ予防、郷土愛育
成、文化伝統継承 等）

学校統合推進スケジュール（期間：令和5（2023）年度から令和20（2038）年度までの16年間）

校 区	学 校	令和5年	令和6年	令和7年	令和8年	令和9年	令和10年	令和11年	令和12年	令和13年	令和14年	令和15年	令和16年	令和17年	令和18年	令和19年	令和20年		
		2023年	2024年	2025年	2026年	2027年	2028年	2029年	2030年	2031年	2032年	2033年	2034年	2035年	2036年	2037年	2038年		
西脇 中学校区	西脇小		統合準備 委員会 設置										調査検討会 設置					統合	
	日野小																		
西脇東 中学校区	比延小		統合準備 委員会 設置					統合											
	双葉小																		
黒田庄 中学校区	楠丘小		統合準備 委員会 設置						統合										
	桜丘小																		統合
新設小学校																			
西脇中学校区	西脇中				統合準備 委員会 設置		統合												
西脇東中学校区	西脇東中		統合 懇談会 設置																
黒田庄中学校区	黒田庄中					検 討													
新設中学校																			
西脇南 中学校区	重春小		統合準備 委員会 設置																
	芳田小								統合										
	西脇南中																		

細かな心のケア・支援

- ・心のケア相談の充実
- ・スクールカウンセラー配置
- ・スクールソーシャルワーカー配置
- ・不登校・いじめ予防
- ・はればれ教室及び校内サポートルームの充実
- ・多様な居場所の確保と連携 等

通学支援の考え方

支援対象児童生徒について

- ・統合により、新たな学校に通学することになる児童生徒
- ・新たな学校までの通学距離が、小学生でおおむね4 km以上、中学生でおおむね6 km以上となる児童生徒
- ・特別な通学支援や通学上の配慮を必要としている児童生徒
- ・その他、統合準備委員会において地域の実態を踏まえて協議

通学路の安全確保

新たな通学路について

- ・新たな学校まで徒歩・自転車通学する際の通学路の協議
- ・公共交通機関やスクールバス利用のため、乗降場所や最寄りの駅まで移動する際の通学路の協議
- ・通学路の危険箇所に関する改修
- ・こども 110番の家の配置や子ども見守り隊・地域住民・保護者による通学支援 等